

## 補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	ロシア極東連邦総合大学函館校支援補助金	開始 年 度	平成10年度
団 体 名	学校法人 函館国際学園		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則		

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	ロシア語やロシア文化、歴史など、ロシアに関するスペシャリストを養成するロシア極東連邦総合大学函館校に対して運営費を補助するもの。
目 的	(目 的) 日本で唯一のロシアの大学の日本校であるロシア極東連邦総合大学函館校は、ロシアに関するスペシャリストを養成するものであるが、少子化などの影響により学生数が減少するなど厳しい経営状態が続いているため、その運営を支援し学校運営の健全化が図られることにより、函館市のロシアとの交流拠点としての役割を担うとともに、市民の国際理解の醸成、また、本市の国際化の推進に寄与することを目的としている。
・ 効 果	(効 果) 学校経営の健全化が図られ、ロシアに関するスペシャリストとなる人材育成およびロシア語、ロシア文化の講師派遣や地域のイベント参加により、ロシアとの交流をはじめ、市民の国際理解の醸成、本市の国際化の推進が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	寄付金	雑収入等		計
		市	その他					
収    入	23	30,000	2,154	25,889	5,262	418		63,723
	24	30,000	2,062	18,667	4,614	405		55,748
	25	30,000	2,037	21,797	840	498		55,172
	26	30,000	2,073	21,936	7,638	709		62,356
	27	29,075	2,015	26,007	3,320	535		60,952
	支    出	年 度	人件費	経常経費	設備費	施設費	特別寄付金繰越	引当金
23		43,540	20,872	762				65,174
24		42,322	12,641	341				55,304
25		39,369	13,656	2,146				55,171
26		43,423	14,171	3,618	335	809		62,356
27		42,748	13,289	1,428		183	2,719	60,367

## 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	ロシア極東連邦総合大学函館校支援補助金
----------------	---------------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ロシアとの交流の長い歴史を有する本市において、函館校はロシアに精通した人材の育成だけではなく、イベントやロシア語の市民講座などを通じロシアとの交流をはじめ、市民の国際理解の醸成、本市の国際化の推進などに大きく寄与している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本市の国際化の歴史的背景であるロシアとの交流拠点であるばかりでなく、市民の国際理解の醸成、本市の国際化の推進を担っていることから、一定の学生数を確保できていない現状においては、経営努力を促すとともに支援が必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	入学者確保の取り組みや学校教育以外の事業収入確保のほか経費節減に努めるなど、自主自立の努力は認められる。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ロシアに精通した人材を育成する学校法人の運営に支出するものであることから、委託や負担金はなじまない。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	補助要望と事業内容、決算状況を勘案し、結果的に毎年同額となっているが、一定の学生数を確保できなければ当面継続して補助する必要がある。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	補助金等交付規則に則り、健全な学校運営を行うために必要な額として補助を行っているが、支出の目的、根拠を明確化するための補助金交付要綱の制定を検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	寄付金の減少に伴い自主財源は前年度から減少となったが、生徒数の増加等により事業収入(授業料等)は増加した。引き続き、入学者数の確保等により自主財源の確保に努めるよう必要な助言を行っていく。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	ロシア極東連邦総合大学函館校支援補助金
----------------	---------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

○平成28年度は入学者13名を確保した。今後も継続して入学者の確保に努めていく。

○ロシアに精通した人材育成を通して, 函館市がロシアとの交流拠点としての役割を果たすとともに, 市民の国際理解の醸成, また, 本市の国際化が推進される。

---

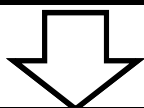
(達成状況)

○入学者 H24: 7名 H25: 10名 H26: 16名 H27: 12名 H28: 13名

○日ロの貿易や交流に携わるロシアに精通した人材を少数ではあるが輩出している。

○領土問題やロシア国内情勢などの要素を抱え日ロ交流そのものが停滞していることもあるが, 同校はロシアとの交流を推進する機能とともに, 市民の国際理解の醸成, また, 本市の国際化を推進する役割を担っている。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



<p>(評価)</p> <p>十分効果をあげている <input type="checkbox"/></p> <p>一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>効果が疑問である <input type="checkbox"/></p> <p>その他 <input type="checkbox"/></p>	<p>(理由)</p> <p>H22に策定した経営改善計画において, 将来的に補助金削減も可能となる毎年15名の入学者確保を目指し学生募集を強化するなどの対策を講じながら, 学校経営の健全化を目指している。</p> <p>また, 市内大学への講師派遣や文化講座, カルチャーナイトへの参加等, 市民の国際理解の醸成, 本市の国際化の推進に貢献する事業を行っているほか, ロシアとの交流事業 (例: ユジノサハリンスク市長表敬訪問等) での通訳等により, 本市とロシアの交流の推進に寄与している。</p>
--	---

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	<p>(見直しの内容)</p> <p>近年の入学者数や学校運営の状況に法人の経営努力がみられることから, 引き続き, 経営の健全化を推進するために必要な助言等を行っていくほか, 支出の目的, 根拠を明確化するための補助金交付要綱の制定を検討する。</p> <p>(見直しの時期)</p>
<p>(廃止の理由)</p> <hr/> <p>(廃止の時期)</p>	<p>(その他の内容)</p>

## ○終期の設定

<p>終期設定</p> <p>平成 30 年度</p>	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	<p>次回チェック年度(予定)</p> <p>平成 30 年度</p>
-----------------------------	---	-------------------------------------